

高いのかな

どこで
買えるの？

髪が抜けますと言われた方へ

どうやって
調べればいい？

自然かな？



ウィッグを買いたい と思ったら



ウィッグを探すヒントはこちら！

どんなウィッグ でもOK



医療用やがん患者用と称した製品
でなくても、自分に似合って気に
入れば、それでOK！
ファッション用を使いこなしてい
る人もたくさんいます。

洋服と同じ！ 特別でなくて いい！



洋服と同じようにウィッグも選ん
で大丈夫。素敵なデザインを選び
ましょう。分け目も意外と人は見
ていません。

まずは1個！ ほどほどの値段で 試してみる



何かあったら買い替えればいいや、
と思えるくらいの製品を
まずは選んで試してみましょう。

実際に調べてみよう！

1 まずはインターネットで調べてみよう

最近では、紙のパンフレットも少なくなってきました。
どこで売っているのか、どんな製品があるのか、簡単に調べられるのがネット検索です。
「ウィッグ 買い物したいエリア（例：横浜）」などに入れると近隣のお店を探しやすいです。
ネット検索が苦手な人は、手伝ってくれる人を探してみましょう。
「医療用」「がん患者用」などのワードを入れると高額品が出てきやすいです。

2 チェックするのは「髪型」と「値段」でOK

ネットでウィッグを調べると、素材や製法、耐久性など様々な情報が出てきます。
でも、医学的に使用が勧められる特別な「医療用」ウィッグはありません。
洋服を選ぶときと同じように ウィッグもデザインと値段からチェックして大丈夫。
ネットで購入される方は、「返品」できるかチェックしておくとう安心です。

3 画像検索が便利です

「性別」「髪型（ショート・ロング・ボブなど）」「年代」「ウィッグのタイプ（フルウィッグか、
前髪ウィッグか、など）」を入力して好みの製品を探してみましょう。
この時、画像検索というところをチェックすると写真が出てくるのでイメージしやすいです。

4 インターネットの情報は、広告として見よう

ネットに出てくるウィッグの情報は、ほとんどが販売側から提供されたものです。
ランキングサイト、口コミやブログの情報も、個人の体験であり、全ての人に合うとは限りません。



実際に買うとき、こんなことが心配！

1 サイズはあるの？

洋服と同じで、**サイズ表記はメーカーによって違います**。フリーサイズのものも多いです。また、サイズ調整用のアジャスターが付いていて、自分で微調整できるものがほとんどなのでご安心を。オーダーメイドでなくても充分使えます。

2 同じ髪型がない！

今と全く同じ髪型を探そうとするとムズカシイ。色・長さ・髪型の範囲を広げて探すとよいです。周りの人に「あれ、髪型変えたの？」と聞かれたら「うん、似合う？」と答えればOK。

案外まわりは髪型を変えた理由を気にしませんよ。

3 かぶって見たらなんか変！→ 前髪を切ってみよう

かぶって見たらなんとなくしっくりこない。そんなときは **かぶり方を見直しましょう**。曲がっていたり、かぶりが浅かったりしませんか？また、たいていのウィッグは前髪が長いので、カットして整えるとしっくりくることがあります。理美容室やウィッグを扱う店に相談してみましょう。もみあげが欲しい時は、眉用パウダーで描くとよいです。

4 暑い時期はどうしよう？

自分の毛でも、夏場は暑くて汗ばむもの。ウィッグも同じです。ただ、地毛よりも地肌に汗が流れるので不快さが増して感じることも。ウィッグと頭皮の間に汗取り用の布を挟むと **汗対策** になります。ひどく汗をかいたらウィッグを外し、デオドラントシートで頭を拭いてさっぱりさせてから、乾いた布に取り換えるとすっきりします。1日使ったウィッグの内側には、消臭スプレーをしておくのがおすすめです。

色々な方法があります！

孫に買ってもらいました。

ネット検索は苦手なので、孫に手伝ってもらいました。ちょっと若々しいけど気に入っています。

1万円以下のウィッグを購入し、2か月ごとに同じデザインのものに買い替えていました。

メンテナンスをしなくて済んだので楽でした。美容室代やヘアケア用品代を考えると年間5～6万円くらいは妥当だったかなと思います。

おしゃれウィッグのお店に行きました。

最初に予算を伝え、あとは洋服のようにデザインの好みで選びました。それで何も問題なく過ごせました。

フリマサイトで手に入れました。

安いものをいくつも買って使い回しています。似合わなかったらフリマに出して売っています。



問合せ先



医療の視点
YOKOHAMA